

MOBIO研究シーズ発表会

～ 表面処理・表面改質編 ～

2018.6.20

クリエーション・コア東大阪 3F

クリエイターズプラザ

主催：MOBIO

甲南大学出展報告

2018.6.22

フロンティア研究推進機構

1. 概要

- MOBIO研究シーズ発表会は、先生方の研究内容を講演形式により発表するとともに、その終了後に隣接する展示会場に移動して、そこで研究試作品も活用しながら、来訪者とフリーディスカッションを行えるスタイルの発表・展示会。
- MOBIO連携大学・高専などが保有する研究シーズを分野別に出展し、参加者は主として関西圏の企業、マッチング団体。
- 本年度は、①「表面処理・表面改質」、②「計測・センシング」、③「加工技術」のテーマ別に3回実施され、本学からは、①にてフロンティアサイエンス学部の鶴岡准教授の研究シーズについて発表、展示を実施し、産学連携のきっかけを探った。

発表タイトル：**多孔性金属錯体の分離膜への応用を目指した錯体シート の作製技術**

- ・パワーポイントを用いた発表（講演会）
- ・ポスター・研究サンプルの展示（展示会場）
- 本学の研究シーズ等を幅広く紹介した。
 - ・大学紹介冊子
 - ・学部案内パンフレット（理工、知能情報、フロンティアサイエンス）
 - ・フロンティア研究推進機構等パンフレット
 - ・全学の研究シーズ紹介資料

2.発表&展示ブース

研究シーズ発表:技術交流室B

収容人員150名。

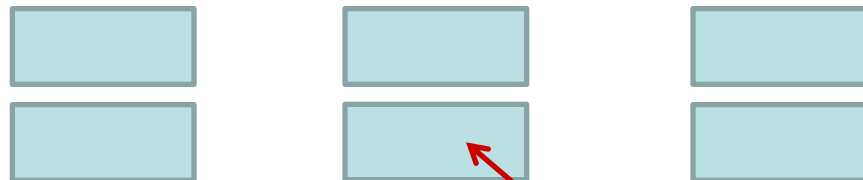
展示会場:技術交流室A

パーティションサイズ:

幅1.2 m x 高さ1.8m

展示テーブル

幅1.8 m x 奥行0.6m x 高さ0.7m

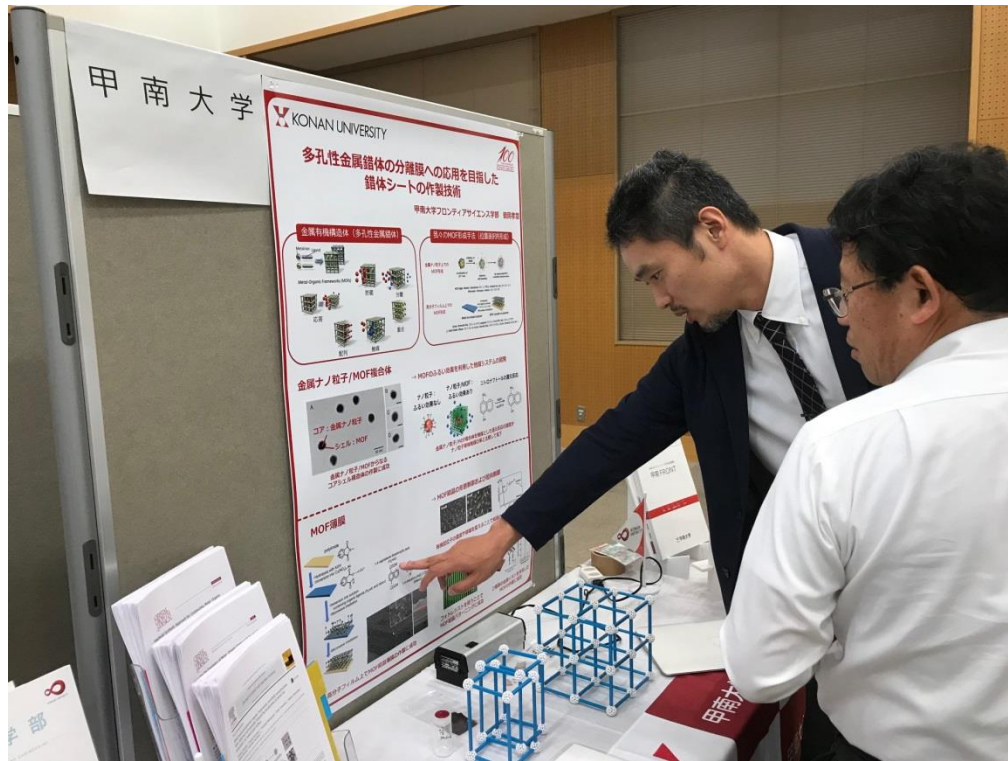


甲南大学ブース

3.発表・展示会場の状況



4. 展示説明状況



5.交流概要

■発表

持ち時間20分の中で、鶴岡准教授の発表は非専門家にもわかりやすく、関心をひくものであった。

■展示会

- ・1時間弱の展示を行ったが、本学ブースには約20名が途切れることなく来訪。活発な質疑が行われた。今後、名刺交換を行った方をフォローしていく。
- ・講演会のみ聴講された方からも連携の打診があり、対応中

	一般	大学他	計
発表会 参加者数	54	33	87
交流会 参加者数	12	23	35
%	22	70	40